

私の学習法

川越 康裕

1. 「できるだけ大きな成果」を出すこと

中学生は、やることがいっぱいある。勉強できる時間も限られてしまう。そのため「できるだけ少ない努力で大きな成果」を出す方法を考えていくことが必要。

- ① 家庭学習に漢字、英単語練習。「〇回ずつ練習」はムダ。練習してもなかなか覚えられないものはたくさん練習。1、2回書いて覚えられるものはその回数のみで。(すべて同じ回数書くのは、時間やノートのムダです)
「だいたい覚えたな…」と思ったら、自分でテストをしてみることも大切。
- ② 各教科のワーク、「できなかった問題」をできるようにする。
(やって、マルつけをしない、赤ペンで答えだけ書き込んでそれで終わりにしてしまうのはムダだということです)
- ③ 家庭学習を毎日続ける。ただ、内容をよく考える。(授業でやったことをまとめる人がいますが、ただ書いているだけじゃ力はずきません。**テストでは実際に問題が出ますので、問題を解く…ってということも不可欠**だと思います)

↑
部活の大会を考えてみてください。当日は「試合」をしますよね？
大会に向けて「練習試合」をして、当日に備えるんです。基本練習だけやって、当日の試合を迎えたら??テストを「大会」だと仮定すると？

2. 当然だけど、「授業を大切に」！

過去、ある学校で成績の良い生徒がいました。でも、その男子は部活に熱中。塾にも行ってない…「いつ勉強してるんだろう？」って思いました。ある日、その生徒の授業を見る機会がありました。

↓
「授業中」の集中力がすごい。先生の言っていることをメモしている。
「授業中に覚えられることはできるだけ授業中に」と本人は言っていました。

「授業中の集中力」と「効率の良い家庭学習」で成績は上がるということ。

3. 今までいろんな生徒を見てきて…

- ・忘れ物の少ない生徒と多い生徒では、少ない生徒の方が成績が伸びる。(当然)
- ・部活動に熱中して頑張っている生徒は、成績が伸びる人が多い。
- ・生活記録ノートの日記を、毎日しっかり記入して提出できる人の方が、毎日提出できない人に比べて、第一希望の高校の合格率が高い。

つまり「やるべきこと」を真面目にやるってことが成績アップにつながる。